

第13回垂水市ふるさと 俳句コンクール入賞作品の紹介

◎学校教育課 ☎ 32-7213

教育長賞
3点

寒空にぼくを見守るおたけどん

新城小学校 6年 須賀 結麻

素振りしてシュッと音鳴る秋の風

垂水中央中学校 1年 前原 葉奈

秋の日は千本イチョウ大笑い

垂水高等学校 1年 黒木 玲沙

特選
7点

気がつけば空がきれいな秋晴れだ

垂水小学校 6年 迫田 杏美

カンパチが夏の水面をきらめかす

協和小学校 6年 川畑 輝琉

青空に深緑輝く牛根松

松ヶ崎小学校 6年 村下 琥太郎

暑い夜地球を横切る流星群

垂水中央中学校 1年 川畑 珠羅

何求め果てない迷路蟻と我

垂水中央中学校 3年 深見 旺代

風薫る髪の毛とめるよヘアゴムが

垂水高等学校 2年 松本 茜

満月が輝く町を包み込む

垂水高等学校 3年 江口 愛紗耶

※敬称略

cotsu-cotsu

コッコツは
学びの始まり

俳句づくりを通して、児童生徒が「ふるさと垂水」を見つめ直し、郷土を愛する心情を培うとともに、日本語の美しさや俳句のリズムを理解し、表現力の向上に寄与することを目的に「第13回ふるさと俳句コンクール」を実施しました。市内の小中高校生571人・889句の中から入賞作品を紹介します。

■教育長賞選評（抜粋）

① 須賀結麻さんの作品

市内には、北は境小から、南は新城小まで8つの小学校があり、それぞれの学校には児童たちの守り神がいて、みんなを見守っているのです。須賀君の通う新城小の児童は昔より少なくなりましたが、みんなの成長を見守ってくれる「おたけどん」がいるのです。

② 前原葉奈さんの作品

夏の炎天下のスポーツと言えば、野球でしょうか。夏休みに頑張った練習の成果は、日焼けを見れば明らかで、大会に向けて自信もついてきて、秋風を切る素振りの音は、試合での活躍を予想させます。

③ 黒木玲沙さんの作品

イチョウと言えば、黄葉

すべての入賞作品と講評は垂水市公式WEBサイトからご確認いただけます。



が風に舞い、又はひるがえるのが一般的な見方です。この作品のよさは、「大笑い」をしている、と感じたところです。イチョウたちは葉を震わせて大喜びしている。大変おおらかな作品です。



新年あけまして おめでとりございます



今年もシルバー世代の力を地域の皆様方のお役に立ててまいりますのでよろしくお願い致します。

会員募集中!!

垂水市に居住されている60歳以上の健康で働く意欲にあふれた会員を募集しています。ぜひ、豊かな知識・経験・技能を「たるみず」に活かしてもらえませんか。



シルバー人材センターは、公益な団体です。仕事のご依頼にあたっては、収益を目的にいたしませんので、安心して仕事をお任せいただけます。様々な場面で、皆様のお力になります。

Active Aging 働くシルバー世代を応援します

〒891-2126 垂水市南松原町42番地
TEL 0994-32-9781

公益社団法人 垂水市シルバー人材センター